

京葉都心線 -その新しい技術- ～都心部と東京湾岸地域を新技術でつなぐ～

京葉線は、日本鉄道建設公団（現 JR TT）が建設した、東京駅と蘇我駅を結ぶ約 43 km の路線で、現在も東京湾岸地域における通勤輸送の要として活躍しています。このうち、京葉都心線は東京駅から新木場駅までの約 7.4 km のことを指します。

新木場～蘇我間が開業してから丸 34 年を迎える 12 月 1 日、都市の厳しい制約を乗り越えて京葉都心線をつくりあげた技術者たちの記録が蘇ります。

京葉都心線は、それまで JR 総武線と地下鉄東西線のみであった湾岸エリアの通勤ルートを充実させ、混雑を緩和させるために日本鉄道建設公団によって建設されました。その建設にあたっては、工事を安全に進めるためのさまざまな新しい技術が採用されました。

この動画では、中高層ビルが立ち並ぶ市街地の地下での建設が進められた八丁堀駅の建設と、交通量の多い首都高湾岸線や運河と立体交差した、夢の島橋りょうの仮設工事についてご紹介します。



【八丁堀駅建設】



【八丁堀駅建設】



【夢の島橋りょう仮設工事】



【夢の島橋りょう仮設工事】



【開業当時の沿線】



【開業式（1990年3月10日）】



<本件に関するお問合せ先>

本社 広報戦略課 TEL 045-222-9101



ウェブサイト



YouTube
公式アカウント



Twitter
公式アカウント